

環境調査結果のお知らせ

令和2年2月13日9時半から浦戸湾(高知市横浜・県漁協浦戸支所前岸壁)の環境調査を実施しましたので、結果をお知らせします。

水温・塩分(表1、表2)

湾内の水温は14.5～16.0℃で、前回調査時(R2.1.29)と比較して表層から1m層で0.2～1.8℃上昇し、2m層から底層で0.4～0.7℃下降しました。
塩分は24.3～31.7で、前回調査時と比較して全層で0.7～14.5上昇しました。

溶存酸素量(表3)

湾内の溶存酸素量は6.4～9.8mg/lで、前回調査時と比較して表層で0.1mg/l減少し、1m層から底層で0.4～2.7mg/l増加しました。

透明度、プランクトン(表4、表5)

透明度は2.0mでした。
検鏡の結果、有害種のヘテロシグマ・アカシオが最高で52,000cells/ml確認され、漁業被害が想定される密度を超えていました。

海面の様子や魚などの生物の異常がみられたときは、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして保存するとともに、直ちに水産試験場または中央漁業指導所まで連絡してください。

表1 水温(℃)

測定水深(m)	今回調査	前回調査(R2.1.29)	
			差(今回-前回)
0m	14.5	12.7	1.8
1m	14.9	14.7	0.2
2m	15.7	16.1	▲ 0.4
B-1	16.0	16.7	▲ 0.7

表2 塩分

測定水深(m)	今回調査	前回調査(R2.1.29)	
			差(今回-前回)
0m	24.3	9.8	14.5
1m	26.5	19.3	7.2
2m	30.6	28.9	1.7
B-1	31.7	31.0	0.7

表3 溶存酸素量(mg/l)

測定水深(m)	今回調査	前回調査(R2.1.29)	
			差(今回-前回)
0m	8.7	8.8	▲ 0.1
1m	9.8	7.1	2.7
2m	7.4	6.0	1.4
B-1	6.4	6.0	0.4

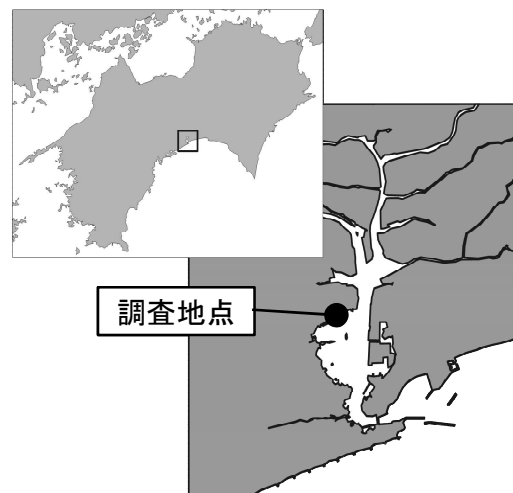


表4 水深・透明度(m)

	今回	前回
水深	4.0	4.0
透明度	2.0	2.2

表5 プランクトン(cells/ml)

測定水深(m)	ヘテロシグマ・アカシオ	アカシオ・サングイネア	ジャイロディニウム属	珪藻類
0	1,100	0	0	0
1	1,500	0	0	0
2	52,000	0	0	0

漁業被害が想定される細胞密度
・ヘテロシグマ・アカシオ:
10,000～50,000cells/ml(魚類等のへい死)

「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>